

平成29年度 川崎高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上(公務外非行の防止)	法令遵守意識の向上により公務外非行の不祥事を防止する。また、若手職員の育成にも留意する。	県職員が起こした公務外非行の事案を、職員全体で共有し、法令遵守意識が高まるように取り組んだ。また、ベテランであればわかっているであろうことも丁寧扱い、若手職員の育成につなげた。
わいせつ、セクハラ行為の防止	公務員倫理意識を徹底し、わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	わいせつ、セクハラ事案について全体で共有するとともに、わいせつやセクハラととられない行動について考えることにより未然防止につなげることができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	性的マイノリティに関する人権研修会を実施し、様々な生徒や職員への人権に配慮する意識を高めた。体罰調査の結果、本校で体罰の事案はないと確認できた。
成績処理及び履修指導に係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	成績処理については、担当グループの指示によりマニュアルに基づいた説明を行い、適切に処理ができた。履修指導については、卒業までを見越した指導を全職員が適切に行えるよう意識をさらに高める必要がある。
進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	校内のチェック体制を整え、マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	マニュアルに基づき適切に書類作成、取扱いを行った。さらなる事故防止へ向けて、担当者間の連携をさらに密にすることで全体への指示を徹底していく必要がある。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	携帯・電子メール・USBメモリの適正使用を含め、適切な情報セキュリティ対策を講じ、個人情報流出を未然に防止する。	個人情報の収集は県からの指示もあり、取扱いの注意が徹底できた。USBメモリの管理を強化し、適切な取扱いができた。答案返却期間のシュレッダーの使用禁止など、誤廃棄防止に取り組み効果を挙げた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し交通事故を未然に防止する。酒酔い運転、酒気帯び運転をしない。	酒酔い・酒気帯び運転をしないことには、日ごろの注意喚起により意識を高めることができた。交通事故については、公務外においても起こさないよう交通法規の遵守意識を高めていきたい。
会計業務等の適切執行及び業務執行体制の確保	相互チェック体制により、適正な経理処理等を行う。	会計においては複数によるチェック体制が整い、適切に執行できた。業務執行においてはグループ業務の見直しにより業務分担を明確にし、業務執行体制を整えた。
入学者選抜に係る事故防止	マニュアルの適切な運用に基づき事故を未然に防止する。	マニュアルに基づいた業務を心がけ、事故防止に努め実現できた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

月1回のペースで事故防止会議及び不祥事防止研修を行う計画で取り組んだが、始業時の打ち合わせも活用し、教職員間での課題の共有と意識の向上が実現できた。

平成30年度へ向けては

- (1) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止、個人情報等の管理、情報セキュリティ対策には重点的に取り組む。
- (2) 不祥事防止研修は始業時の打ち合わせ時間なども有効に利用し継続していく。
- (3) 業務アシスタントを業務執行体制の中で活用していく。